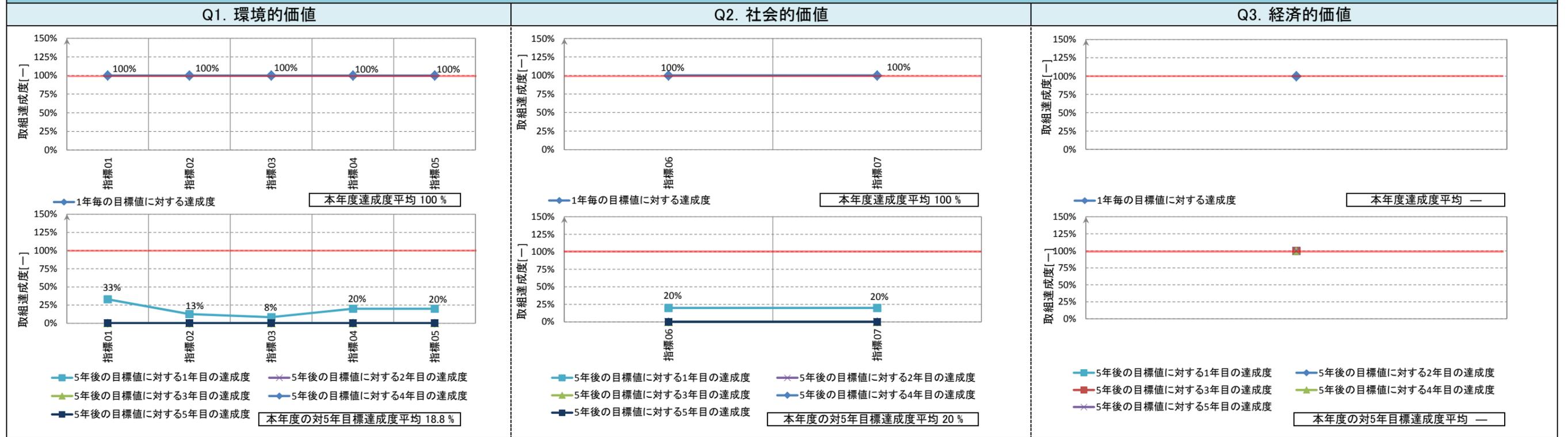


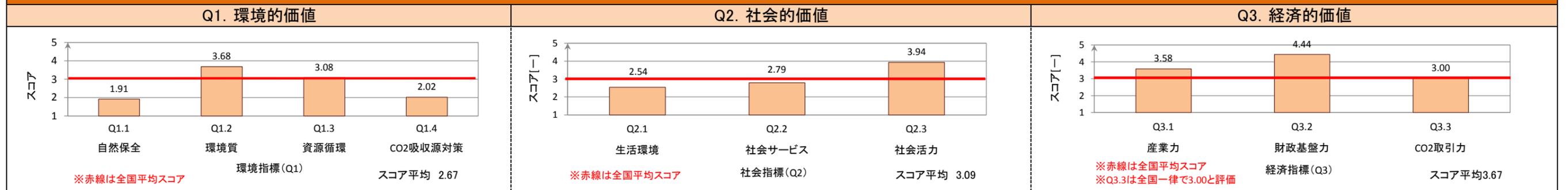
# 評価結果総括表 (2013年暫定版)

<h2>宮城県 岩沼市</h2>	人口: 43,530人 世帯数: 16,118世帯(平成24年3月末現在) 就業人口: 20,847人(平成24年3月末現在) 市内GDP: 1,975億円(平成22年度) 面積: 60.71km <sup>2</sup> (うち森林面積14.18km <sup>2</sup> )	<h2>平成24年度の 取組の都市総括</h2>	エココンパクトシティの形成に関しては、防災集団移転先の造成工事に着手し、並行して、移転先のまちづくりに関し総合的に検討するため、移転される方々やその周辺の市民、学識経験者らによる玉浦西地区まちづくり検討委員会を設置し、17回の会議を開催した。千年希望の丘の造成事業に関しては、国内外からの寄附等を財源に築造工事を行い、H25.6.9に4,500名の市民らの参加のもと3万本の植樹を行い千年希望の丘の第1号が完成した。自然エネルギーによるエネルギーマネジメントシステムの構築については、メガソーラー事業者が設立され、地権者等との調整を進めている。自然共生・国際医療産業都市の整備については、企業アンケート調査や基本構想の策定を行っている。医療福祉情報ネットワークによる予防医学推進事業や次世代アグリビジネスの展開においても概ね順調であり、総括的には所期の目的を達成することができたと考えている。
----------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

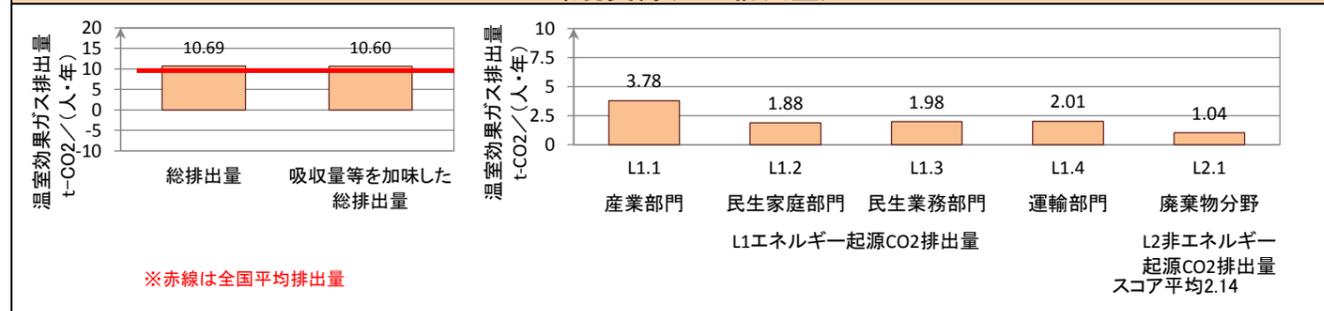
### フロー評価結果(取組進捗評価(自主評価))



### ストック評価結果(CASBEE都市評価(統計データ)) ※統計データは2010年のもの。都市の現状値を評価



### L. 環境負荷(CO2排出量)



### 推進ボードからのコメント

震災復興事業の柱であるエココンパクトシティへの集団移転事業は、被災者や関係機関を含め共通理解を深めながら推進されており、極めて順調に進捗していると評価される。また、エココンパクトシティ移転後の環境的価値や社会的価値の向上が十分に期待される。一方、自然共生・国際医療産業都市整備に向けた企業誘致に関しては、企業アンケート調査実施という段階であり、時期・内容ともに当初計画どおりに実現できるか不安が残る。エココンパクトシティや千年希望の丘、アグリビジネスによる雇用の創出など、環境・社会・エネルギーに焦点を絞って今後の取り組みを進めるなど、実現可能な方向性を探ることが必要と思われる。

### 推進委員会からのコメント

■6被災地域からエココンパクトシティへの集団移転事業は他に類のない事例と言える。地域エネルギー、地産地消の観点を取り入れながら頑張って欲しい。  
 ■全体的に見て大変順調に進んでいる印象を受けた。これからも継続して頑張って欲しい。  
 ■被災地としてはスピードを持って事業に取り組んでおり、オリジナル性も高いと考えられる。

# 評価指標リスト

指標番号	価値分類	評価指標
指標01	環境	沿岸部から市東部のエココンパクトシティへの集団移転
指標02	環境	がれきを活用した「千年希望の丘」の造成
指標03	環境	がれきの有効利用
指標04	環境	メガソーラー事業者の誘致及び売電、EVバスの導入エココンパクトシティ内への非常時の電力供給
指標05	環境	植物工場等の次世代アグリビジネスによる被災者の雇用創出
指標06	社会	自然共生・国際医療産業都市の整備に向けた企業誘致
指標07	社会	エココンパクトシティに整備された福祉施設や高齢者住宅と提携した医療機関等とのネットワークを構築させる。

環境未来都市 PDCAサイクルを回すための取組執行体制に係わる自己チェックリスト

作成日：平成25年5月2日(木)

作成者(部署/氏名)：

岩沼市総務部政策企画課 大友康弘

承認者(部署/氏名)：

岩沼市総務部政策企画課長 百井 弘

確認事項	チェック項目	確認根拠	確認	是正処置
①環境未来都市計画及び目標の策定	環境未来都市計画の各取組に中長期(5年後)および単年度(1年後)の目標が設定されている。	環境未来都市計画書	✓	
	全ての目標値は定量的に評価できる。定量的に評価できない目標値は、その進捗を計測する代替手段がある。	環境未来都市計画書	✓	
	全ての取組においては責任者が定められており、明文化されている。	事務決裁規程	✓	
②実施体制の構築	構成員間の役割分担・責任分担が明文化された体制図が作成されている。	行政組織規則	✓	
	部局間、事業間の連携を図るために仕組みづくり(会議運営等、各都市で具体的な内容を明記)が検討されており、かつ実行されている。	庁議、部課長会議等の庁内会議	✓	
③都市間連携・ネットワークの有効活用	(都市名と具体的な連携内容)に関して連携をしている、もしくは今後連携を予定している。			未対応(他組織等との連携に留まっている。)
	成功事例を他へ展開するために具体的な仕組みを構築している、もしくは今後構築を予定している。			未対応(視察等には積極的に対応している。)
④関係者の参画	全体計画の立案から、その実行、見直しの全てのフェーズにおいて関係者が参画している。		✓	
	環境未来都市計画において各取組に参画が必要な関係者が特定されており、明文化されている。			未対応(企業誘致等では事前に企業を決めることはできない。また、工事等に関しても、入札手続き等が必要である。)
⑤関連文書の記録・作成	文書の作成者、承認者が決まっている。また文書・記録の管理を実施する責任者が決まっており、明文化されている。	事務決裁規程	✓	
	作成された文書・記録の保管場所・保管期間が決まっており、関係者に周知徹底されている。	文書取扱規程	✓	
	ウェブサイト等のICTを活用した情報開示を行っている。	市のHP	✓	
⑥取組状況の定期的な確認並びに問題の是正および予防	計画の中で、定期的(具体的な回数、2回/年など)に「取組評価」の自主評価が明文化され、かつ実行している。	環境未来都市計画書		未対応
	定期的(具体的な回数、2回/年など)な自主評価の結果、目標の達成が難しいと判断された取組に対しては確実に是正処置を施すよう、その確認をする責任者が決められている。	事務決裁規程	✓	
	計画の中で、毎年PDCAサイクルを回すための取組執行体制に係わる自己チェックリストの自主評価が明文化され、かつ実行している。	環境未来都市計画書		未対応(実施しているが、明文化はしていない。)
⑦代表者による全体の評価と見直し	代表者による全体評価のプロセスが構築され、かつ実行している。	庁議、部課長会議等の庁内会議	✓	
	代表者による全体評価において評価すべき項目が決められている			未対応(状況に応じての対応となっている。)
	前回の代表者による全体評価での指示事項は全て実行されている。	庁議、部課長会議等の庁内会議	✓	
⑧その他	代表者による全体評価のプロセスが構築され、かつ実行している。	庁議、部課長会議等の庁内会議	✓	

是正処置への対応の詳細
-------------

<p><b>代表者による確認</b></p> <p>当市の環境未来都市計画は復興計画を基にしておりますが、規模の小さな自治体であり人員も限られていることから、市役所全体で復旧・復興にあたる必要があります。このことから、復興に当たり改めて「部」等のレベルで組織を設けることはせず、必要なものについて、既存の「部」の中に「課」を設ける形で対応しております。なお、通常業務も含め、全国の他自治体から多くのご支援をいただきつつ、各種の取り組みを進めておりますが、震災の風化や復興事業の長期化に伴い、人員や財源の不足を懸念しております。</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p><b>推進ポ一ドによる確認</b></p> <p>事業の実施体制に関しては、まちづくり検討委員会の設置や庁内会議等の開催により、ステークホルダーの情報共有と理解を深めながら事業推進に当たっている点が高く評価される。一方代表者による確認にも記載されているとおり、自治体の人員も限られている中で、平常業務と復興事業の双方に取り組まねばならない現状を考えると、取組状況の確認や評価などが一部未対応となっている点は理解できる。また都市間連携・ネットワークの有効活用もなかなか対応しきれないが、岩沼市での取り組みは、様々な学会などでも高く評価されており、事業に関わる産学の人材を有効に活用していくことも、一つの解決策になると考えられる。</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p><b>推進委員会による確認</b></p> <p>特段ご意見なし。</p>
------------------------------------------

(参考)取組進捗状況一覧

環境未来都市計画での記載内容												1年目(2012年度)の達成状況					
都市名	取組番号	取組	指標番号	評価指標	価値分類	評価方法	基準値	1年目の目標値	2年目の目標値	3年目の目標値	4年目の目標値	5年目の目標値	1年目の目標値	1年目の実績値	単年度の達成度	5年目標に対する達成度	進捗状況説明
宮城県 岩沼市	取組01	エココンパクトシティの形成	指標01	沿岸部から市東部のエココンパクトシティへの集団移転	環境	進捗率評価	0	防災集団移転先の造成に着手	防災集団移転先の造成完了	集団移転を希望する全世帯の移転完了		-	防災集団移転先の造成に着手	防災集団移転先の造成に着手	100%	33%	25年内の完成に向け工事を行っている。
	取組02	千年希望の丘の造成事業	指標02	がれきを活用した「千年希望の丘」の造成	環境	定量評価	0	1	4	6	8	8	1	1	100%	13%	24年度に1基築造。25年度～27年度各年度に各々2基を復興交付金で築造し、少子高齢化・環境対応等復興モデル事業費補助金で25年度に1基築造を検討している。
			指標03	がれきの有効利用	環境	定量評価	0	20,000	113,858	176,430	239,000	239,000	20,000	20,000	100%	8%	24年度に築造した1基にがれきを有効利用した。引き続き有効利用を進める。
	取組03	自然エネルギーによるエネルギーマネジメントシステムの構築	指標04	メガソーラー事業者の誘致及び売電、EVバスの導入エココンパクトシティ内への非常時の電力供給	環境	進捗率評価	0	メガソーラー事業者の誘致	パネル設置工事に着手	売電の開始およびEVバスの導入	市内学校等への太陽光パネルの設置	市内学校等への太陽光パネルの設置	メガソーラー事業者の誘致	メガソーラー事業者の誘致	100%	20%	24年度にメガソーラー事業者が設立され、目下、地権者との地上権設定契約の手続き完了を目指している。
	取組04	自然共生・国際医療産業都市の整備	指標06	自然共生・国際医療産業都市の整備に向けた企業誘致	社会	進捗率評価	0	企業へのアンケート調査及び基本構想の策定	基本計画の策定および企業誘致活動	企業誘致活動	企業誘致活動	企業の立地	企業へのアンケート調査及び基本構想の策定	企業へのアンケート調査及び基本構想の策定	100%	20%	基本計画の策定を進めている。
	取組05	医療情報ネットワークによる予防医学推進事業	指標07	エココンパクトシティに整備された福祉施設や高齢者住宅と提携した医療機関等とのネットワークを構築させる。	社会	進捗率評価	0	医療福祉情報ネットワーク構築のための先進的取り組みの注視	医療福祉情報ネットワーク構築のための情報収集	エココンパクトシティ内への導入手法等の検討	ネットワーク化計画の策定等	エココンパクトシティ内のネットワーク化	医療福祉情報ネットワーク構築のための先進的取り組みの注視	医療福祉情報ネットワーク構築のための先進的取り組みの注視	100%	20%	一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会における取り組みを注視している。
取組06	次世代アグリビジネスの展開	指標05	植物工場等の次世代アグリビジネスによる被災者の雇用創出	環境	進捗率評価	0	食料生産地域再生のための先端技術展開事業の市内での実施	・食料生産地域再生のための先端技術展開事業の市内での実施 ・植物工場の建設等に係る検討	・食料生産地域再生のための先端技術展開事業の市内での実施 ・植物工場の建設等に係る検討	・食料生産地域再生のための先端技術展開事業の市内での実施 ・植物工場の建設等に係る検討	・食料生産地域再生のための先端技術展開事業の市内での実施 ・植物工場の建設・誘致及び被災者の雇用	食料生産地域再生のための先端技術展開事業の市内での実施	食料生産地域再生のための先端技術展開事業の市内での実施	100%	20%	電気自動車と農業用充電ステーションの組み合わせによる農業エネルギーマネジメントの実証研究において、充電ステーションの候補地選定、路地園芸技術の実証研究においては、キャベツにおける機械化体系の実証を行った。	